

CCかわさき エコ暮らし 3つのチャレンジ行動

～持続可能な社会に向けて～

私たちは、日々の暮らしの中で大量の二酸化炭素(CO₂)を排出しており、地球温暖化の大きな要因ともなっています。そこで、未来のために、「低炭素」・「資源循環」・「自然共生」の3つの分野で一人ひとりが身近な行動を起こす必要があります。

持続可能な社会に向けて、CCかわさき“エコ暮らし”を実践しましょう。

低炭素 チャレンジ行動



地球温暖化の進行は、豪雨被害や農作物の不作など、日常生活にも大きく影響しており、原因であるCO₂は、私たちが大量にエネルギーを使うことで排出されています。

一人ひとりが生活を見直し、エネルギーを効率的に使ったり、ものを大切に使うことで、よりよい環境を将来に残しましょう。

●省エネ行動

- ・環境ラベルや消費電力を参考に製品を選ぼう
- ・食べ物は地元産の旬のものを選ぼう

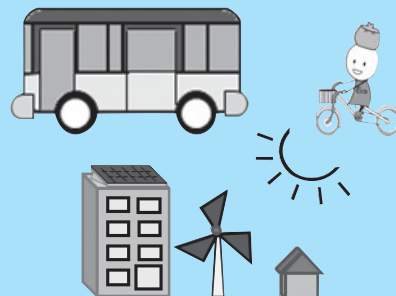
●移動時の配慮

- ・お出かけには電車・バス・自転車をかしこく使おう
- ・車に乗る時はエコドライブしよう

●エネルギーをかしこく使う

- ・窓を開けるなど、自然の光や風をかしこく使おう
- ・太陽光発電など、再生可能エネルギーを活用しよう

様々な環境ラベル



資源循環 チャレンジ行動

現在、川崎市で焼却している「ごみ」の中には「資源物」となるものが、まだまだ多く含まれています。分別と再資源化を進め、ごみの焼却量を減らすことはCO₂などの削減につながります。きちんと分けて正しく出す。身近なエコにチャレンジしましょう。

●ミックスペーパー・プラスチック製容器包装の分別収集

ミックスペーパー

平成23年3月から全市で開始



菓子箱、包装紙、レシート、窓付き封筒などがミックスペーパーです。

プラスチック製容器包装

平成23年3月から川崎区、幸区、中原区で開始
(高津区・宮前区・多摩区・麻生区は平成25年度実施予定)



白色トレイ、洗剤のボトル、お菓子の袋、キャップなど

 のマークが付いたすべての容器包装が対象です。

他にも出来る身近なチャレンジとして・・・

リデュース(Reduce) 買い物はマイバック持参、必要な物だけを買う、食べ残さない

リユース(Reuse) 詰め替え商品・繰り返し使える容器を選ぶ

リサイクル(Recycle) 再生品を購入する、缶・びん・ペットボトルを分別する

水や食料、医薬品、木材等私たちの生活を支える様々な自然の恵み。私たちの生活の影響により、この恵みの源である『生物多様性』が急速に失われているといわれています。未来の子供たちのためにも、今、私たち一人ひとりが行動を始めましょう。

●市民100万本植樹への参加

- ・身の回りに木や花を植えよう
- ・緑のカーテン作りに挑戦してみよう

●自然とのふれあい行動

- ・近郊の緑を見直す緑の遊歩道(トレイル)めぐりしてみよう
- ・体験学習等に参加してみよう

●生物多様性への配慮

- ・『生物多様性』について調べてみよう
- ・身近な生き物をさがしてみよう



自然共生 チャレンジ行動

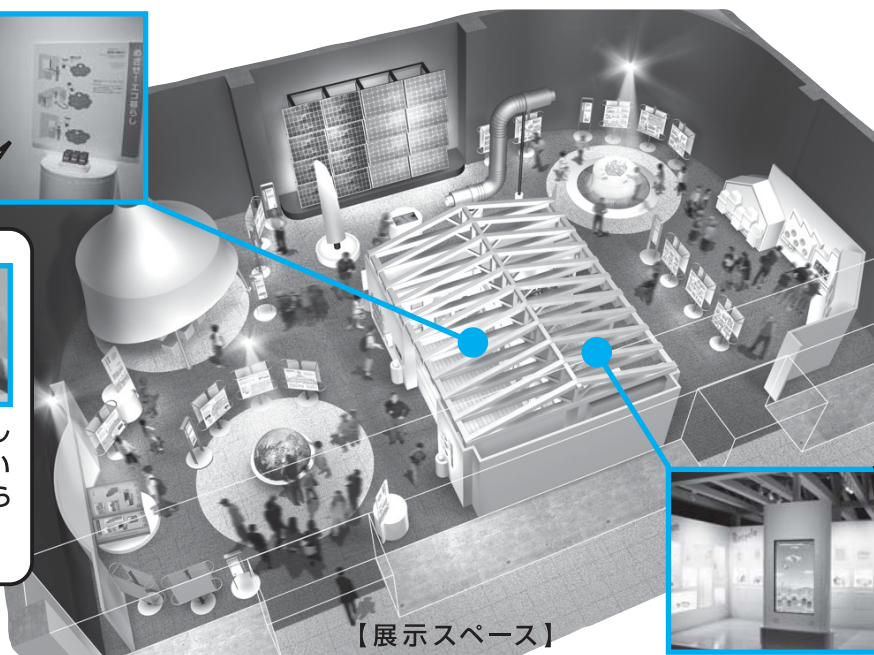


かわさきエコ暮らし未来館オープン!

平成23年8月6日、かわさきエコ暮らし未来館が川崎市の浮島処理センター内にオープンしました。地球温暖化問題、再生可能エネルギー、資源循環の3つのテーマについて、見て、聞いて、さわって学べる「かわさきエコ暮らし未来館」には、家庭での“エコ暮らし”について、体験的に学習ができる展示内容がたくさんあります。



家庭でのエネルギーのムダづかいを探してエコ暮らしを学びます。



エコ暮らしをするためにごみを減らすヒントを学びます。



展望スペース(予約制)からは浮島太陽光発電所を一望することができます。

【太陽電池出力】約7,000kW

【パネル使用枚数】約38,000枚



【浮島太陽光発電所】(平成23年8月10日稼働)